

令和6年度「幼児教育推進体制を活用した地域の幼児教育の質向上強化事業」 主な取組内容概要

自治体名：秋田県

【幼児教育に関する現状や幼児教育推進体制の取組の特色等】

秋田県では県及び事業実施10市村に教育・保育アドバイザーを配置し、県と市が連携しながら、幼児教育推進体制の充実強化を図っている。幼児教育センター（県内3地区を拠点）に、指導主事・幼保指導員を配置し、県全域の市町村が連携しながら各施設の保育改善及び保育者の資質向上を支援する体制を構築してきた。

県による事業実施市村とアドバイザー未配置市町村における、子どもの自発的な活動としての遊びを通した育ちと学びの連続性を踏まえた教育・保育に差が出てきている。

【令和6年度における主な取組内容】

- 1 アドバイザー配置市町村の主体的な取組の推進
- 2 幼児教育の質的向上を図るための人材育成
- 3 架け橋カリキュラムを開発・実施する市町村の拡充
- 4 教職員の専門性の向上
- 5 教育・保育推進体制の拡充

【取組内容の具体的な事例】

＜市町村教育・保育アドバイザー間のネットワークの充実・強化＞

県教育・保育アドバイザーを核とした市町村教育・保育アドバイザー間のネットワークの構築を図るために、年5回の「教育・保育アドバイザー連絡協議会」や「市町村アドバイザーに学ぶ研修会」を実施した。アドバイザーのニーズに応じた内容を工夫したり、アドバイザーが主体的に学び合う体制を支援したりしている。

＜幼児教育スタートプラン理解啓発リーフレット＞

国の「幼児教育スタートプラン」を踏まえ小学校以降の生活や学習の基盤につながる幼児期の教育の重要性について理解啓発を図るリーフレットを作成。県内5歳児の保護者、就学前教育・保育施設、小学校等、市町村福祉部局、市町村教育委員会等に配布した。また、県HPにリーフレットと説明動画を掲載し、広く県民の理解啓発を図っている。



<幼児教育スタートプラン推進のための有識者会議>

幼保小の接続期の教育・保育の質的向上に向けて「架け橋プログラム」の取組に関して協議する有識者会議を開催し、幼児教育の重要性についての理解啓発及び幼保小の架け橋プログラムの一層の推進に向けた取組について意見等をいただいている。小学校や就学前教育・保育施設への働き掛け等、市町村の実態に応じた支援の在り方についての意見が出された。

<架け橋プログラム市町村訪問>

県内24市町村を対象とし、組織体制構築に向けた会議等の企画・開催への支援、開発会議への組織・運営への支援、カリキュラム開発における支援等を行った。幼保小連携の一層の推進に向けた体制づくりにおいて、次のフェーズへ進んでいる市町村が多くあったことが成果として挙げられる。

<就学前教育推進協議会の開催>

学識経験者や市町村教育委員会、市町村就学前教育・保育施設担当課代表等で構成し、地域の実情に応じた幼児教育推進体制の在り方や架け橋期のカリキュラム開発、実施等について協議する就学前教育推進協議会を開催し、各市町村の実情に応じた取組の充実を図っている。市町村の規模やカリキュラム開発の進捗状況を考慮したグルーピングにより、グループ協議では積極的な意見交換が行われた。各市町村担当者が、カリキュラムの開発、実施等に向けた見通しをもつことができ、市町村間のネットワークが広がる機会となったことは大きな成果と捉えている。



【就学教育推進協議会】

<架け橋プログラム研修会>

就学前教育・保育施設、小学校等、行政関係者を対象とし、架け橋プログラム理解推進を図り、架け橋期のカリキュラム開発・実施に向けた研修会を2回実施した。1回目は、大学教授、幼保小の架け橋プログラム推進を図っている市の職員を講師とし、架け橋プログラムについての理解を深める内容を講演いただいた。2回目は、市担当課、小学校、就学前教育・保育施設それぞれから実践発表を行ったことで、他市町村担当者や小学校、就学前教育・保育施設にとって今後の実践につながる研修会となった。

<就学前・小学校等地区別合同研修会>

県内3地区を会場に、地域における就学前教育・保育と小学校教育との円滑な接続について就学前教育・保育施設と小学校等の教職員間の相互理解を深めるとともに教職員の資質向上を図ることを目的とした研修会を開催した。協議・演習を通して、乳幼児教育と小学校教育との育ちや学びのつながりについての理解を深めることができた。

